



子どもたちと絵本をつなぐためにー。
益城町図書館とボランティアの皆さん
の取り組みを紹介します。

絵本は 読書の世界への扉

子どもの頃に読んでもらった
絵本を覚えていますか？

その絵本との出会いは、これ
から始まる読書の世界への入り
口を開く、特別な瞬間だったの
ではないでしょうか。

読書は、言葉を学び、感性を
磨き、表現力を高め、想像力を
豊かにします。そして、何より
もいつまでも心に残るような本
と出合う、その体験はとても格
別なものです。

しかし、デジタル社会と言わ
れる現代。子どもたちは、イン
ターネット、ゲーム、SNSな
どに多くの時間を費やし、対照
的に読書に充てる時間が減り、
本と巡り合う機会が次第に失わ
れつつあります。

図書館では、約2万冊の絵本
を所蔵しており、子どもたちが
絵本と出合うためのさまざまな
取り組みを行っています。
今回は、その取り組みの一部
である「おはなし会」「布の絵
本」「移動図書館」「ブックス
タート」をご紹介します。

絵本をもっと好きになる おはなし会



◀ みんなのおはなし会
ドームの中で開催される
おはなし会。年齢問わず
誰でも参加できます。



▲おひざにだっこのおはなし会
0～2歳の児童と保護者が対象。
読み聞かせや手遊びをします。



おはなしボランティア「たんぽぽ」
猿本仁子さん(惣領2町内)
星山慶子さん(広崎4町内)
田川尚子さん(辻の城団地)

図書館では、定期的に2つの
おはなし会を開催しています。
司書やおはなしボランティア
「たんぽぽ」の、絵本の世界に思
わず引き込まれる、巧みな読み
聞かせを体験してみませんか。
※日程は、本紙裏面のカレンダー
をご覧ください。